

2020 年(令和 2 年) 2 月 25 日

福山市立 瀬戸小 学校長 様

済 美 中 学 校 区  
学 校 関 係 者 評 価 委 員 会

## 2019 年度 (令和元年度) 学校関係者評価報告書

## 評価結果

	評価項目	評価
1	中学校区や学校のめざす子ども像がよく分かった。	◎
2	中学校区や学校の児童生徒の現状や課題がよく分かった。	◎
3	学校が本年度何を重点目標として取り組むのかがよく分かった。	◎
4	短期経営目標や評価項目・指標等の達成状況がよく分かった。	○
5	短期経営目標の自己評価結果に基づく改善方策がよく分かった。	○
6	短期経営目標の自己評価結果に基づく改善方策を実行している。	○
7	中学校区や学校は、教育活動に関する情報を、保護者・地域住民等に積極的に発信している。	◎
8	積極的な情報発信により、中学校区の学校・保護者・地域が互いに連携協力を深めている。	◎
<b>【意見等】</b> ○評価委員は、必ず会議に参加できる体制にする。例えば、PTAの代表は会長でなくてもよいなど、工夫して出席しやすい体制を作る必要がある。 ○学びを変えていく中で、諸々の見直しを進めており、そのことを分かりやすく説明してほしい。		

## ※ 評価基準

評価	基準	説明
◎	十分満足できると判断されるもの	「評価項目」に示されている状況を高い水準で達成していると考えられる。
○	おおむね満足できると判断されるもの	「評価項目」に示されている状況をおおむね達成していると考えられる。
△	努力を要すると判断されるもの	「評価項目」に示されている状況を達成していないと考えられる。